

# 八雲町地域自立支援協議会

(地域おこし協力隊 活動報告)

## 《 自己紹介 》

※こんにちは。八雲町地域おこし協力隊、隊員の西 桂司（にし けいじ）と申します。2025年の2月より、北海道は二海郡八雲町にて活動して居ります。以前は兵庫県などで生活をして居り、この度ご縁があり八雲町へやって参りました。



### ・【プロフィール】

出身地：兵庫県 尼崎市

(ひょうごけん あまがさきし)

年齢：61歳

職種：障がい者福祉

血液型：A型

趣味（現在、お休み中）：映画鑑賞、オートバイ、Mac

## 《 協力隊応募の背景 》

※福祉分野においては、全国的に高い離職率と求人に対し応募が少ないことから、一部の地域や事業所では常態的に人手不足が生じている状況にあります。八雲町でも同様な状況にあり、障がい者福祉に関する人材育成・確保・定着のため、地域おこし協力隊を募集されていて今回、応募をさせて頂きました。

## 《 活動先について 》

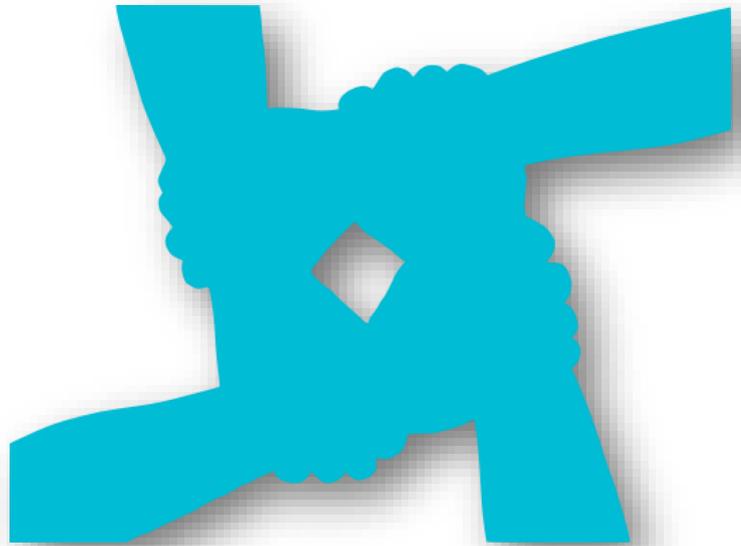


※ 私が活動している障がい者福祉事業所は、複数箇所で行われています。その中で現在、私が主に活動している場所では敷地内に宿泊施設（一般利用可能）やカフェ、パンの製造販売所などが運営されています。それらの内、宿泊施設（2棟）の清掃や作業室での物品制作作業などに携わる利用者さんと一緒に活動を行っています。

※ 清掃作業の内容は決まっていますが毎日と同じではありません。清掃する部屋数も日に因って変わります。何より、人の気持ちは「それぞれ」です。良い時もあれば、そうでない時もあります。そこが大切であり、そこに支援する人が傍にいる意味なのだと思います。

## 《 今後の活動について 》

※ 私が障がい者福祉に携わる様になって14年、来年の春で15年目を迎えようとしています。福祉分野に関わって居られる方々は様々です。自身の思いから関わられた方。御家族や友人知人に支援を必要とされる方が



居られ、それが当たり前の生活で在った方など様々です。私の場合は全くの偶然でした。どちらかと言えば「意図して居なかった」とも言える切っ掛けでした。「ああ、こう言う“世界”もあるのだな。」と感じたのが最初で、20年以上前の事でした。それから幾ばくかの時が過ぎた或る日、障がい者福祉に携わろうと決めました。

※ 私は障がい者福祉に携わる事が好きですし、楽しいと思っています。『なぜ?』と問われる事もよくあります。答えは一言では説明できません。けれど、沢山お話しする事は出来ると思います。